
アンドーナツ

描迷 氷菓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アンドーナツ

【Nコード】

N4331N

【作者名】

描迷 氷菓

【あらすじ】

アンドーナツを作る話

（前書き）

アンドーナツを作ったので書いてみました。

気付けば、もう6月だった。

久しぶりに見上げた空はいつの間にか私から遠ざかっていた。

「高いな…」

呟いたところで心の虚しさは消えない。

手に持った買い物袋の中には、今日作るおやつ材料が入っていた。

- ・ホットケーキミックス
- ・卵6個パック
- ・牛乳パック1?
- ・あんこ(ちなみに、つぶあん)

―さて、ここで問題です。

私は何を作るでしょうか。

そんなことを私は空に向かって言ってみる。
もちろん、返答はない。

―正解は、アンドーナツです。
うまく作れるかは分かりませんが、
けど、人生チャレンジです。

優しく風が吹いた。

私の肩までつかない短い髪をふわりと持ち上げた。

台所に立ったときにはもう、時計は4時を回っていた。

全然、おやつの時間じゃなかった。

私はボウルを手に取り、中にマーガリン30gを入れた。
ホイップでやわらかく混ぜ、違う皿に取っていた卵を少しずつ加えていく。

お菓子作りは、包丁を使わないから好きである。

マーガリンと卵が綺麗に混ざり合った。

ーマーガリンと卵の融合。

そこで私はふと考える。

ーたまーがりん。

変な名前だし、ギャグ線も低いが気にしない。

融合が完了した、たまーがりんに牛乳大さじ1入れる。
また、融合する。

ーたまーがりん・ミルク。

相変わらず、恐ろしくつまらなく、くだらないことを考えている私だ。

そのたまーがりん・ミルクに巨大な粉が降り注ぐ。

ホットケーキミックス170g。

ホイッパーからヘラに私は装備を変える。

―たまーがりん・ミルク対ホットケーキミックス。

もう、勝敗は見たようなものだった。

ホットケーキミックスがたまーがりん・ミルクを飲み込み、固体に近いふにゃふにゃしたものになる。

それを、寂しくてほんの少し明るくて、寒い場所に入れる。
ふにゃふにゃは、そこで30分の仮眠を取る。

その間、私はあんこを20gずつに分ける作業をする。
誰かが休暇をとれば、誰かがその分働くのは当たり前である。

30分が経ち、ふにゃふにゃは起こされる。
ふにゃふにゃは1個の固体から10個の固体に分けられる。

そして、つぶされて薄くて丸い皮みたいになる。

そこにあんこを乗せる。
優しく包む。

その作業を10回やる。

全部があんこを包んだ固体になったところで
暑い油の海へ落とす。

160度から170度くらいある油の海。
その中へ慎重に、それらを落とす。

じゅー。

静かな部屋に揚がられる音だけが響いていた。
10個揚げ終わり、キッチンペーパーは油だらけになっていた。

最後に、白い雪のようなものをかけて
アンドーナツはできた。

茶色くて丸い固体に、白いグラニュー糖がかかったアンドーナツ。
食べたら太りそうだ。

時間は5時であった。

これは、間食というものになりそうな気がした。

アンドーナツを袋に入れて、私はまた外へ出た。

近くの公園のベンチに座った。
外は夕暮れで、暖かった。

空を見上げると相変わらず高く、
公園を見渡しても誰もいなくて、
一人でアンドーナツを食べるのが寂しい気がした。

ーだけどいいんだ。

冷たくて、ゆっくりと頬を流れるものがあつた。
鼻をすすらなきゃいけなくなった。

鼻で息もできなくなった。

それでも、私はアンドーナツを食べた。

—おいしい。

（後書き）

ギャグ線（？）の低さに自分で笑えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4331n/>

アンドーナツ

2011年2月1日20時30分発行